

- 1 つねに市民の立場に立って、人間優先の施策を進める。
- 2 改善と創造に徹して、躍動する施策を進める。
- 3 的確な展望に基づいて、未来につながる施策を進める。
- 4 自治の認識を深めて、市民参加の施策を進める。



- 1 地域社会の主体者として、権利と義務の自覚を深める。
- 2 生活共同体の一員として、積極的に市政に参加する。
- 3 新しい社会の創造をめざして、連帯の行動を強める。
- 4 責任と協調の市民生活を求め、つねに前進をはかる。

新春の一月四日に、さつき公園で行われた市消防団の出初式。三百人の団員のみなさんとともに、婦人防火推進隊のみなさんもリリしい初姿をみせ、みんなのまちをみんなで見守ろう、と強い決意をひろうしました。



市民の参加で市民がつくる

健やかな「まち、住みよい」ふるさと

ふるさと八幡づくりに全力を

新年おめでとうございます。市民の皆様には、平素から市政にご協力を賜わり、厚くお礼を申し上げます。さて昨年は、年間を通じて大きな変化等がいくつもあった年、その都度喜び合ったり、驚いたりしました。

国際的には、二千年の交流がある中国との戦争状態を終結し、日中平和友好条約が締結され、平和共存の時代に入りました。私は、日ごろ、平和の中においてこそ、真の地方自治が成長し、発展を遂げるものであると考えておりました。このことには大きな喜びを感じました。国内にもいろいろな出来事がありましたが、終始私たちに心配させたのは、インフレと不況が同居するスタグ・フレーションの現実でした。今年こそ、経済事情も好転してほしいと願っていますが、依然として非常に困難な状況が続くような不安があります。



八幡市長 山中末治

一方、八幡市においては、新市役所の完成で市民にふさわしい事務所が持てたこと、岩田農業用水施設の完成、ひとこと、長い真夏の洪水期を乗り切れたこと、さらには山城地方では最初の休日急診診療所の開設をみたことなどが、市の歴史に残る出来事としてあげられます。また、わたがけ・くすのき両保育園をはじめとする福祉施設と福祉施策の一定の前進によって、福祉バラムキ論や見直し論による昨今の自治体攻撃に対し、市の姿勢を示すことができたと考えています。

力を合わせて、よりよき八幡に

健やかな一九七九年の新春を迎え、市民の皆さんに謹んで新年のあいさつを申し上げます。年頭にあたり、この一年ご家族おそろいで、健康に明るく豊かな毎日でありましますことを、心からお祈り申し上げます。



八幡市議会議員 西村一

毎年のことながら、テレビから流れてくる年頭寒時の時ととも、「あけましておめでとうございます」の音が聞こえてきます。新しい年を迎えた実感がわいてきます。私は毎年元旦を迎えると、今年はどうなるかなと思うのです。

本年もなお一層困難を強いられることになると思われまふ。その中において、市民の福祉の増大、近代都市としての基礎確立など取り組むべき問題は数多く、当市として、市民の皆さんと深く結びつき、農家の方も、商業の方も、ともに手をきりあう形で、真に明るい住みよい健康なまちづくりを進むよう努力したいと考えています。

激戦の手を打ったようですが、その効果も薄い状況で、昨年同様またそれ以上に、私たちの暮らしは厳しくなると思われまふ。しかし、悲観的なことばかり言うてはなりません。市民の皆さんが待望しておられました市民の生活に直結する新庁舎も完成いたしました。また昨年は関係各位の絶大なご協力によりまして、山城地方で初めての休日急診診療所を開院することができました。

これら福祉につきましては、前進こそあれ後退はあってはなりません。議会といたしまして、十分に市民の皆さんの声を受けとめ、その具体化を進めるとともに、山積する諸問題については、議会における審議を通じて積極的に推進を図る所存です。市民の皆さんと深く結びつき、農家の方も、商業の方も、ともに手をきりあう形で、真に明るい住みよい健康なまちづくりを進むよう努力したいと考えています。

なにとぞ、倍旧のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。また、皆さん方の多幸をお祈り申し上げます。新年のあいさついたします。

ために、根本的な対策を、他に一部未収のみられる貸付回収金とともに未納に繰越されるよう要望す。

